

ふれ合いのある明るい地域社会の構築

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

中区	小学校区・地区名	宇野学区	世帯数	10,025 世帯	人口	19,570 人
----	----------	------	-----	-----------	----	----------

■組織の概要

平成 26 年 4 月、宇野コミュニティハウスの完成をきっかけに、地域の各種団体の連携を図り、ふれ合いのある地域づくり及び文化の向上に寄与することを目的に「宇野学区コミュニティ協議会」が発足しました。令和 2 年度から全体組織の見直しが行われ、元々の目的を引継ぎながら、地域課題解決に向け、お互いの情報を共有し、主体的に一体となって活動し、住み良い地域を築くことを目的に、令和 4 年 4 月「宇野学区安全安心ネットワーク」として、再編成され、活動しています。

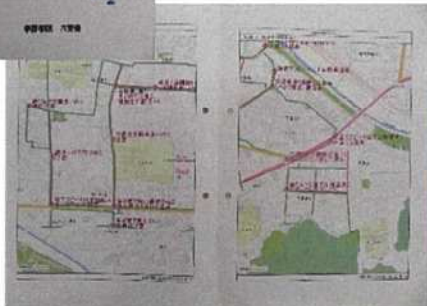
■①活動の取組内容

【六交会の活動】(交通安全)

以前から、防犯安全パトロール隊、交通安全母の会、交通安全対策協議会が登下校の見守り活動を行っていましたが、組織横断的に情報の共有、活動の一元化を図れるように、宇野学区連合町内会、宇野パト隊、宇野小 PTA、交通安全対策協議会、交通安全母の会、老人クラブ等が加わり、2018 年「六交会」を立ち上げました。日々の見守り活動は元より、町内会長の協力を得て通学路の危険箇所を洗い出し、「宇野小学校交通安全マップ」を作成し、生徒全員に配布、交通安全に勤めています。



また、定期的に通学路の安全点検を実施し、危険箇所について関係部署へ改善要望申請を出しています。



どのような危険があるのか具体的に記載しています

六交会マスコットキャラクター UNOKO



■①活動の成果

地域全体で、子どもや高齢者を交通事故から守ろうという連帯感が生まれていると同時に、子ども達は登下校時に親しみをもって挨拶をしてくれ、交通安全に気を付けようとする姿も見られます。また、地域として危険箇所をまとめて関係機関に改善申請をしたことで、横断歩道等、比較的早く対応してもらえました。

■②活動の取組内容

【避難所開設訓練】(防災)

平成 30 年西日本豪雨では、床上浸水した地域がありました。過去 6 年間続けて実施してきた「日帰り防災キャンプ」がコロナ禍により、ここ 3 年間実施できていない状態です。しかし、避難場所の確認や交渉、岡山市危機管理室への問い合わせや出前講座、地域住民への啓発などは続けて行っています。また、昨年度から操山中学校区内の指定避難場所 4 箇所で、市の危機管理室や指定職員に参加してもらい避難所開設訓練を実施しています。



公民館での開設訓練の様子



宇野小学校での開設訓練の様子

■②活動の成果及び今後の展開

学区内の指定避難所で、実際に開設訓練を実施することで、市指定職員の実地訓練にもなっています。また、地元として協力しなければという気運も高まり、発災時には、スムーズに対応できるのではないかと考えています。昨年は、役員だけの参加でしたが、今年度は 3 箇所が終わり、避難を考えている地域住民にも参加して経験してもらっています。来年度は、避難場所開設から避難までの一連の訓練を考えています。